

今、ご紹介にあずかりました、えー、＝オグラケンタロウ＝と申します。えー、じゃあ今からあの一、私の講演、『勇気を持って頑張らない』を始めさせていただきたいと思います。えー、どうぞよろしくお願ひいたします。そうですね。今日何を話したいか、何を伝えたいか。勇気を持って頑張るのやめて、何、どうしていくか、ま、そういうことを話していけたらなと思ってるんですけども。まあちょっと最初、余談的な話からいききたいなと思うんですけど。こう、カウンセラーやってて、こうカウンセラー、キャッチフレーズとかってこう結構何かないのかなとかっていうのを考えてたりしてたんですけども、さっきちょっとひらめいたのがありまして、まあ僕のキャッチフレーズ。サラリーマンカウンセラー（笑）。これでいききたいなと、ちょっとさっきひらめいたんですけども。あの一、なんでサラリーマンカウンセラーかっていうと、サラリーマンやってて、ま、カウンセラーをやってるから、サラリーマンカウンセラーなんですけれども。なんでこれをひらめいたか、なんで今＝言いたか＝っていうと、あの一、僕、サラリーマンもカウンセラーも、あの隠し、さなきゃと思ってる、隠してたんです。自分が、どっちも。で、人から結構言われるんですよ。あの一、サラリーマンやっててカウンセラーもやってるんですかって、すごいじゃないですか言われるんですけども、いやいやいやいやみたいな、こう、会社ではカウンセラーを隠し、カウンセリングではサラリーマンを隠し、みたいな。どっちも隠してるみたいな。でも最近はですね、どっちもよく言うんです。僕サラリーマンやってて、カウンセラーやっています。サラリーマンやってて、カウンセラーやってる。もう、すごいでしょっていうのをよく受け取れるようになってきたわけです、つまり。あ、俺、す、えらいなって感じ。自分で自分のこと認める、褒められるようになってきた。で、なんかそんなふうに思えてきて、で、えーとですね、自分は本当に自分を否定する気持ちってすごい強い人間だったんですけども、あの一、こう、いろんな講演とかで自分のことを話す、話させていただくこととかよくあって、よく、よく話してたのが、昔はよく天然って言われることが多くて、で、それもすごく嫌だったんです。みんなからこう、おまえって天然だよなって言われるのがすごく嫌で、で、それをこう、あ、でも天然ってのもいいところなんだって思えてきて、で、まあ最近はですね、あの一、＝イケオチサト＝カウンセラーからの、こう、あの君って珍獣だからみたいな、こう今度言われだして、今度はこう、それを受け取るのがこう課題だったりするんですけども（笑）、まあどンドンこうハードルがこう、受け取る、認める、あの一、受け入れてくってこうハードルがどンドン上がってきて、まあ、あの一、まあそんな、た、ことだったりするんですが、結構そういうふうには受け取っていつてくとですね、またいろいろ面白いこともあって。ま、会社でも、だから言うわけですよ。カウンセラー実はやってるんですよとかって言うと、この間、あの一、僕、あの一、システムエンジニアの仕事をやってんですけども、取引先のお客さんから、あの一、あの、この間ラブレターの書き方講座っていうのをやったんですけどね、それブログに書いたりしてたら、あの一、ラブレターの書き方講座とかやってるんですかと会社で言われて（笑）、僕、そっちに興味があるんですけどなんて。ラブレターってどう書くんでしょなんて言われたりもしたりとかですね、あの一、いろいろこう、まあ楽しみだしてきましたよっていうとこなんですけどね。